

国立

国会

図書館

月報

NATIONAL  
DIET  
LIBRARY  
MONTHLY  
BULLETIN  
2020.4

国会会議録検索システム、日本法令索引のリニューアル

ある人が国立国会図書館の

インターネットサービスで調べてみた

『孔子聖蹟之図』の書誌的調査

国立国会図書館で働いています

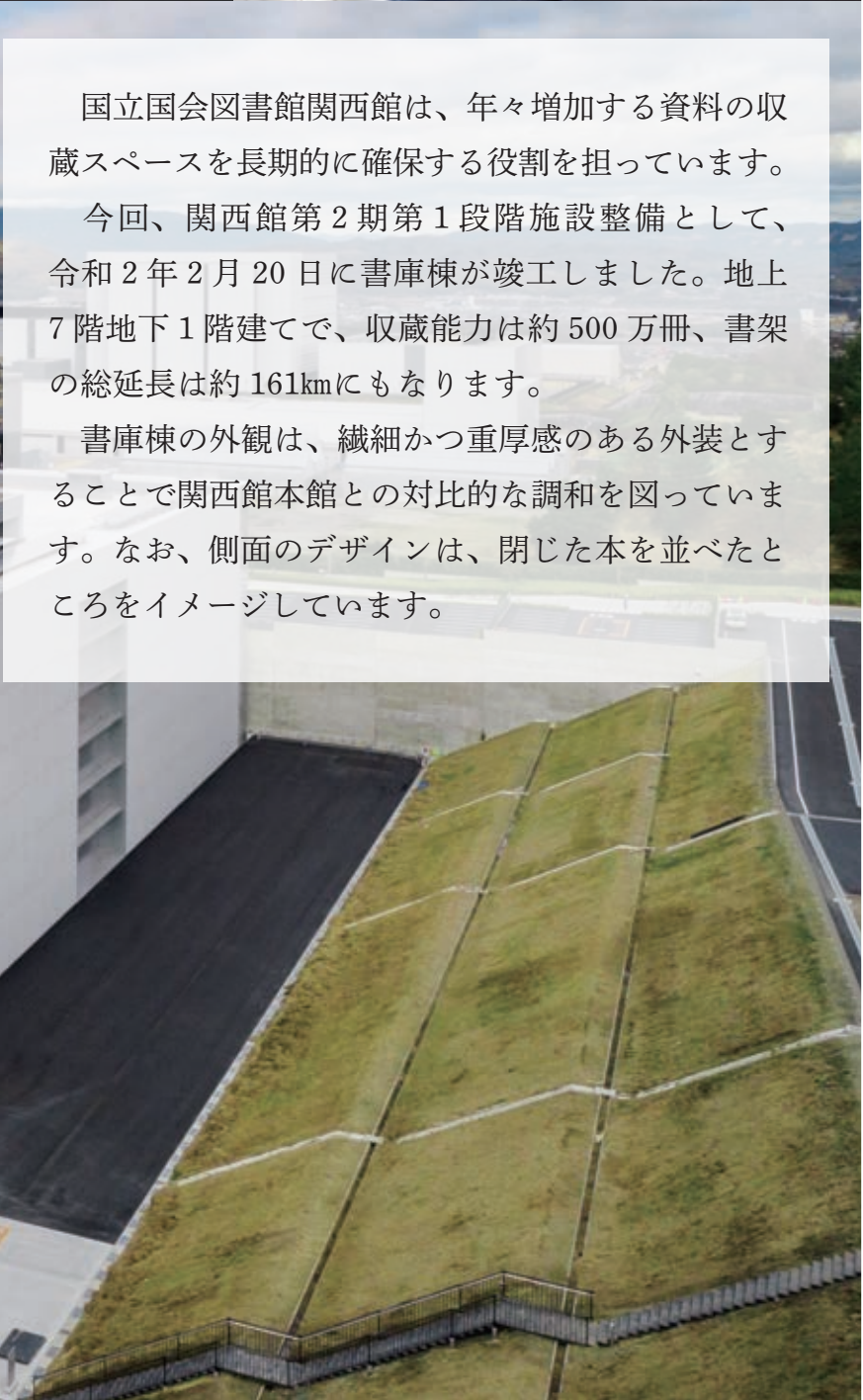




国立国会図書館関西館は、年々増加する資料の収蔵スペースを長期的に確保する役割を担っています。

今回、関西館第2期第1段階施設整備として、令和2年2月20日に書庫棟が竣工しました。地上7階地下1階建てで、収蔵能力は約500万冊、書架の総延長は約161kmにもなります。

書庫棟の外観は、繊細かつ重厚感のある外装とすることで関西館本館との対比的な調和を図っています。なお、側面のデザインは、閉じた本を並べたところをイメージしています。



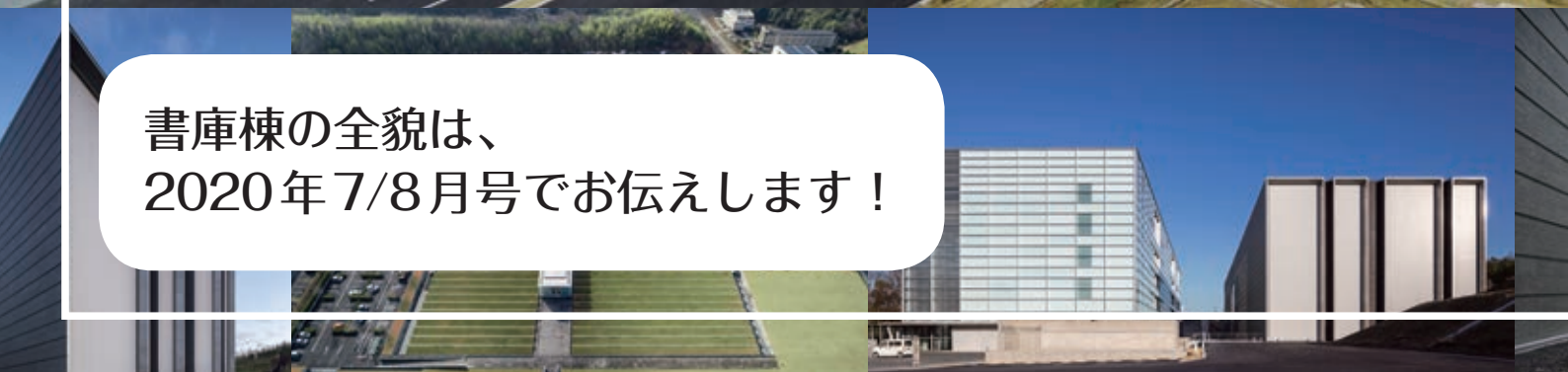




# 関西館書庫棟完成！



書庫棟の全貌は、  
2020年7/8月号でお伝えします！



# 国立 国会 図書館 月報

NO. 708  
APRIL 2020

CONTENTS

- 3 関西館書庫棟完成！  
*Die Schweiz in Japan*  
— 地図に載っていない「日本」  
— 今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から
- 8 国会会議録検索システム、  
日本法令索引のリニューアル
- 14 ある人が国立国会図書館の  
インターネットサービスで調べてみた②
- 18 『孔子聖蹟之図』の書誌的調査  
— 刊行年を特定せよ！
- 26 国立国会図書館で働いています  
no. 4
- 7 本屋がない本  
『ディエゴ・リベラの時代』
- 29 館内スコープ  
「縦から横へ」のその先に
- 30 NDL Topics

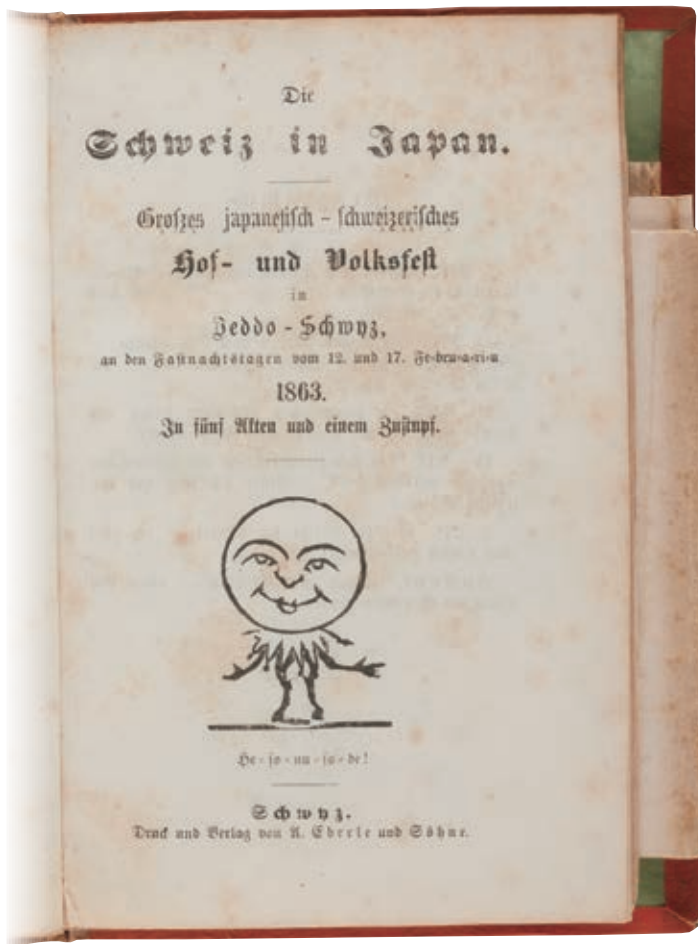


表紙：  
「花」(木版手摺) 恩地孝四郎 画  
『書窓』3巻1号  
日本愛書会書窓発行所 1936.5 21 cm  
<請求記号 Z21-163 >



# Die Schweiz in Japan 一地図に載っていない「日本」

吉井 伶奈



*Der Kongreß und die Moden, oder, Regulirung der Vergangenheit, Gegenwart und Zukunft am schmutzigen Donnerstag (16. Februar) 1860 in Schwyz: Stenographisches Protokoll*

[A. Eberle und Söhne], [1860] 30 pages ; 20 cm  
<請求記号 KS429-B2>

第1回日本人劇の標題紙。

スイスの国名の由来となったシュヴィーツ州の州都シュヴィーツ、この人口1万5千人ほどの地に、「日本国皇帝」がいることを皆さんはご存知でしょうか。名はヘソヌソデ\*。「日本人劇」(Japanesenspiel)と呼ばれる喜劇の登場人物です。日本人劇は、冬の謝肉祭(カーニバル)の時期に、シュヴィーツ住民の企画・出演により催される野外劇です。日本・スイス間で修好通商条約が締結される前年の1863年から現在に至るまで、数年おきに上演されています。劇では、シュヴィーツが「江戸」と化し、住民が「日本人」となっており「Virelum Taikuni (大君万歳!)」(大君もどもとは將軍を指すが、ここでは皇帝=天皇の意)と称えます。

今回ご紹介するのは、第1回日本人劇(1863年)の台本です。当館では、その前に上演された謝肉祭劇(1860年)、第2回日本人劇(1865年)の台本と合冊したものを所蔵しています。

標題紙に太陽を模したような大きな丸い顔の道化が描かれており、その足元に「He-so-nu-so-de!」とあります。第1回劇中にはヘソヌソデという名は登場しませんが、これが日本国皇帝の名です。He so nu so de

\*実際の発音はヘソヌソデに近い。



は日本語の「へそ」や「袖」の意味は無く、スイスの方言です。“Je nun dem”の意で、日本語にすると「まあまあとところで」「Je nun, so sei es halt」の意とする文献もあり、筆者の感覚からすると「うん、まあそうしておくほかないな！」といったところででしょうか。母音で終わる日本語の響きに似た表現を選んだと思われます。この作品には、他にも *saki* や *suu* などのように、語尾を日本語や中国語に似た響きに変えているところがあります。

なぜ150年以上前のスイスの山岳地域で、日本をテーマとした劇が上演されることになったのでしょうか。その理由は、謝肉祭の性質と、当時の日本との交渉にあります。

謝肉祭は、数日間にわたり、色とりどりの衣装や仮面を身につけた人々のパレードや音楽隊の演奏など、無礼講で爆発的なお祭り騒ぎを地域全体で楽しむものです。スイスには古くから謝肉祭で仮装劇を演じる習慣がありました。劇の題材には、日頃の憂さ晴らしをする謝肉祭の仮装にふさわしい、非日常的でエキゾチックな要素が求められました。そこで登場したのが日本でした。

いっぽう、時計産業をはじめとするスイ

ス商工業界は、隣接諸国の保護関税政策に苦しんでいました。新たな販路を求めるスイスにとって、開国したばかりの日本は魅力的な市場に思われたことでしょう。そこで1859年に日本に通商使節が派遣されましたが、期待に反して交渉は難航し、1861年には議会で派遣旅費と多額の献上品予算が組まれました。この情報はシュヴィーツ市民の耳にも届いており、条約締結で利益を得るのは時計産業で、シュヴィーツのような農牧地域は関係がないことも知られていました。

はるか遠い異国の日本との交渉は、謝肉祭劇で自国を面白おかしく風刺するのいうってつけたのでしょう。上演当時は政府から派遣された外交使節はまだ日本に上陸していないので、とても注目されていたこと、それだけに想像がふくらみすぎたことがわかります。

謝肉祭らしい華やかな仮装で出演者が街を練り歩いて舞台に着き、物語は始まります。ヨーロッパ帰りの日本使節、スイス使節などが、スイスや周辺国について批判します。スイス使節が皇帝に献上品を差し出す場面では、無価値の株券や動かない時計など役に立たないものばかりだったため、皇帝の逆鱗に触れ、処刑を宣告されます。





1865年の第2回日本人劇「チューリヒ人とウーリ人のシュヴィーツ謝肉祭詣での旅 (Der Zürcher & Urner Fastnachtsfahrt nach Schwyz im Jahre 1486)」では、15世紀頃のスイスの歴史、様々なツunft (同業者組合)、当時のゴットアルド峠トンネル計画などがとりあげられている。巻末に添えられた横長の絵から、仮装の様子を想像できる。

**Erster Akt.**

① **Taikun**, seine Fürsten und Völker, ziehen ein in  
 ② **Jeddo**, der Hauptstadt der Welker. — Die Fabrik wird  
 geölt, dann angetrölt.

Der Zug geht durch die Gassen ③ **Her-ren-sa-ti** und ④ **Sträh-  
 li-tun** auf den Platz-**ni**, wo der Thronsaal, die Musikstrade  
 und die Gallerien für das japanesische Publikum sich befinden.  
 Voraus der Dollmetscher als Zugführer zu Pferde. Musik  
 (vom Südpol). Eine Abtheilung Leibgardisten mit Standarten-  
 träger. Die Hagen-Hegel-fui mit den Messern ihres Amtes.  
 Der Kaiser im Palankin. Fächer- und Sonnenschirmträger. Die  
 Mandarinen, der Staats-Oeler, Hofkanzler und Hofarzt. Stand-  
 artenträger. Die Kaiserin im Palankin. Hofdamen. Die frem-  
 den Gesandten: Frankreich, England, Preußen, Italien, Mada-  
 gaskar. Der Ambassidor von Schwyz. Eine Gruppe indiani-  
 scher Gaukler und Bajadere. Eine Abtheilung Leibgarde.

Nach Beendigung des Zuges werden die verschiedenen Stra-  
 den, Plätze und Posten bezogen. Die Musik spielt das ⑤ **japan-  
 esische Nationallied**, auf dieses fest komponirt vom Musik-Man-  
 darin **Tschümp-er-li**. Stille Huldigungsfeier vor der ⑥ **Sphinx**  
**Japan's** im Hintergrund des Thronsaals. Im Vordergrund  
 Dialog zwischen dem Dollmetscher und dem Staats-Oeler (welch'  
 letzterer eine Del-Kante darstellt) als Prolog.

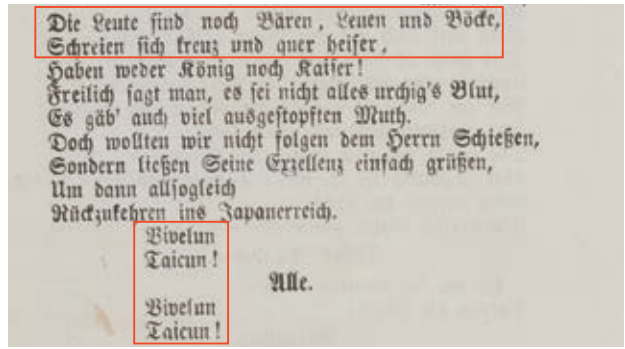
- ① Taikun 大君
- ② Jeddo 江戸
- ③④ Her-ren-sa-ki, Strähli-kun  
シュヴィーツの街路名を日本語に似た響  
きに変えている。
- ⑤ japanesische Nationallied 日本国歌
- ⑥ Sphinx Japan's 日本のスフィンクス

第1回日本人劇の脚本。第1幕冒頭。皇帝夫妻、各国（イタリア、フランス、イングランド、プロイセン、マダガスカル）の使節とシュヴィーツの大使が姿を現す。独自の日本国歌が演奏され、日本のスフィンクスへの敬礼の後、通訳（Dollmetscher）と国家油差し役人（Staats-Oeler）の会話が始まる。油は賄賂の暗喩である。Taikunは江戸時代に外国に対して用いられた徳川将軍の称号だが、ここでは皇帝・天皇を意味する。また、本来は中国清朝の高級官吏を指すMandarin（ここではMandarinen）が日本皇帝の臣下として登場するといった混同もみられる。



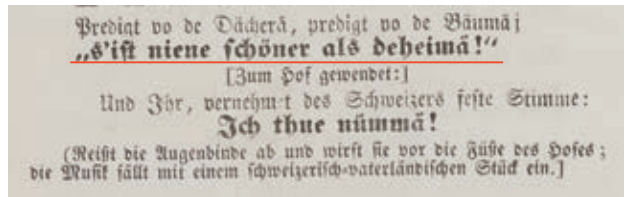
SWI swissinfo.ch  
<https://www.swissinfo.ch/jpn>

日本人劇の全景（2013年2月）。村の教会Pfarrkirche St. Martin Schwyzの前に大きな舞台が組まれ、約200人が出演した。



第3幕前半。ヨーロッパから戻った日本使節が「スイスに住む人間たちの正体は、熊とライオンと山羊で、互いに吼えあっている」とスイスを批判する。熊とライオンと山羊は各州の旗を指す。

下には“Vivelum Taicun! (大君万歳!)”のセリフも。



第3幕後半。ピクニックで目隠し鬼ごっこで鬼に指名されたシュヴィーツ大使が、鬼ごっこ中の侮辱に耐えかねて、方言丸出しで叫ぶ。

「ふるさとが一番良えだ!」

しかし、刑執行の直前、突如スイスの音楽とヨーデルの歌声が響き渡り、スイス農民が行進してきます。皇帝国家日本は民主主義国家となり、日本の都シュヴィーツはスイス連邦首都に昇格、皇帝はスイス市民権を求め、スイスへの万歳のうちに劇は締めくくられます。

この荒唐無稽な筋立ての第1回公演が好評を博したので、シュヴィーツでは定期的に日本人劇を開催するための組織として「日本人協会 (Japanesengesellschaft)」を設立しました。その会長をヘンソヌデとし、以降現在に至るまで数年おきに上演されています。第2回公演以降は、日本をテーマにした話ではなく、スイスの歴史や伝説と現在のスイスの状況に主軸が置かれています。劇中劇に近い構成をとり、日本国皇帝は劇を奉納される、人々を行進に導く司会者に似た役割となっています。

いくつかの文献で指摘されているとおり、第1回作品から日本らしさはあまり見られず、名称や衣装に中国との混同も見られます。日本を茶化す意味も、国際親善の意味合いがありません。一貫しているのは、スイス発祥の地としての誇りと郷土愛です。時代の急速な変化を嫌い、現状を批判しながらも、古き良き伝統を称え継承する

○参考文献

T.インモース 著、尾崎賢治 編訳『変わらざる民族 演劇・東と西』南窓社、1972<請求記号 KD412-9>  
 宮下啓三 著『スイス・アルプス風土記』（白水叢書20）白水社 1977<請求記号 GG475-38>  
 Weibel, Viktor. *Hesonusode: Theater, Geschichte und Fasnachtskultur: 150 Jahre Japanesengesellschaft Schwyz*. Triner, c2006<請求記号 GG475-B7>  
 宮下啓三「謝肉祭劇「日本のスイス」 中央スイスの民衆劇と日本のテーマ」『慶応義塾大学言語文化研究所紀要』（通号5）1973.12<請求記号 Z12-220>  
 宮下啓三「日本人劇」の誕生と伝統 中央スイスの謝肉祭劇についての報告『教養論叢』（通号96）1994.3<請求記号 Z22-194>  
 宮下啓三「日本国を舞台にしたスイス人たちの劇 スイス・アルプス地域の謝肉祭行事とその歴史」『帝京国際文化』（20）2007.2<請求記号 Z22-1546>  
 中井昌夫 著『初期日本=スイス関係史 スイス連邦文庫館の幕末日本貿易史料』風間書房 1971<請求記号 GB383-10>  
 U.イム・ホーフ 著、森田安一 監訳『スイスの歴史 歴史・民族・文明』（刀水歴史全書43）刀水書房 1997<請求記号 GG475-G10>

ものであるという自負が日本人劇に見えます。ドイツでもフランスでもない、スイスのアイデンティティを、シュヴィーツの人々は保守的な観点から見出そうとしたのかもしれない。しかし、作者も演者も全て素人で、その年限りの上演となる劇を、現在まで作り続けてきた一番の原動力は、劇そのものの楽しさでしょう。その楽しさのきっかけが、日本との外交交渉だった縁にささやかな喜びを感じるとともに、アルプスの山々に囲まれたもう一つの「日本」がこれからも続くことを願っています。



# 本屋に

# ない

# 本



## ディエゴ・リベラの時代 Diego Rivera and His Contemporaries メキシコの夢とともに

埼玉県立近代美術館 編集・発行  
大溝裕 (Glanz) デザイン  
2017.11 223p 26cm  
<請求記号 KC16-L3082>

画面いっぱい人がひしめいている。アステカの時代から近代にいたるまでの流れの中に、人々の歴史が様々な

に表されている。メキシコシティの国立宮殿に描かれた20世紀メキシコを代表する画家ディエゴ・リベラ(1886-1957)の壁画「メキシコの歴史: 征服から未来へ」である。

リベラは壁画運動の画家として知られている。壁画運動とは1920年代以降のメキシコで、先住民時代から植民地時代を経て革命に至るまでの歴史を、文字の読めない人も含めて多くの人に伝えるために、また革命後の民族主義的精神の高揚とアイデンティティの確立を芸術によって進めようとして起こった運動である。

リベラたちの壁画運動の時代から一

世紀近くを経た2017年10月、埼玉県立近代美術館とメキシコ文化省・メキシコ国立芸術院(UNBA)との共同主催で展覧会「ディエゴ・リベラの時代 メキシコの夢とともに」が開催された。この展覧会はタイトルにあるように、リベラの画家人生の中で制作された多様なスタイルの作品を、彼と

同時代に生きた芸術家の作品とともにたどったものである。壁画運動でリベラと並んで知られるダビッド・アルファロ・シケイロスやホセ・クレメンテ・オロスコなどはもちろんのこと、リベラとは別の潮流にあった同時代の画家や芸術運動の作品も展示されている。

リベラの若い時代の作品を紹介した部分では、ヨーロッパに留学していた時期の、印象派など西洋近代絵画の諸

様式や、キュビズム等に影響を受けた時期の作品が紹介されている。

またレオナルド・フジタ(藤田嗣治)や北川民次らリベラと親交のあった日本の芸術家たちの作品も展示することで、日本との接点も示したものになっている。

展覧会の内容を記録した図録では、展覧会の構成に沿って本文部分が8章に分かれており、冒頭で紹介した国立宮殿の壁画を含む、展覧会には出品されていない作品も参考図版として取り上げている。特に、壁画作品の図版は見開きページで掲載されているものも多く、細部に描かれたモチーフや人々の表情までうかがうことができる。また、巻頭のメッセージや論稿の他、巻末資料としてリベラの年譜や作品作家

の略歴紹介、出品リストと作品解説が掲載されている。

展覧会および図録の終章にあたる第8章では民族主義的なものとは異なる「普遍的なもの」「多様なもの」を探求したメキシコ美術の様々な作品を扱うことで、リベラ自身が「メキシコの固有のもの」を芸術という「ユニバーサルな言語」で外部に語りかけていた点を示して締めくくっている。

日本国内にも所蔵されていないが普段あまり多く目にするのではないメキシコ美術の様々な側面に光が当てられており、革命等を経て変化していった時代のメキシコの一面と、その時代のメキシコ美術と日本との関わりをも知ることのできる一冊である。

(中村穂佳)

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。

# 国会会議録検索システム、 日本法令索引のリニューアル



国会会議録  
検索システム

<https://kokkai.ndl.go.jp/>



帝国議会会議録  
検索システム

<https://teikokugikai-ndl.go.jp/>



日本法令索引

<https://hourei.ndl.go.jp/>

国立国会図書館は、衆議院・参議院と共同で、国会の会議録を検索できる**国会会議録検索システム**を平成 11 (1999) 年から提供しています。また、国立国会図書館法第 8 条に基づいて法律の索引を編纂しており、平成 16 (2004) 年にインターネットで**日本法令索引**という検索サービスを開始しました。

これに明治時代から始まる帝国議会の会議録や法令に関する情報を加え、国立国会図書館では、国会発生情報に関連する 4 つのデータベースを提供しています。

この度、これらのデータベースを全面的にリニューアルしました。ここでは、**国会会議録検索システム**と**日本法令索引**を中心に、データベースの概要と、基本的な使い方を紹介します。

(調査及び立法考査局 議会官庁資料課)



日本法令索引  
〔明治前期編〕

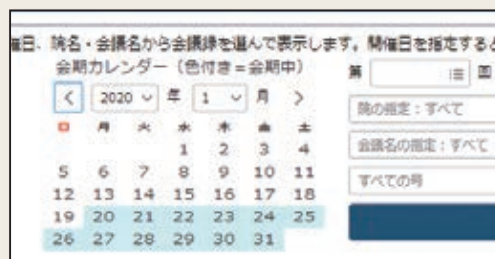
<https://dajokan.ndl.go.jp/>

トップページからキーワード検索



## Renewal!

カレンダーやリストから選べる



スマートフォン、  
タブレット  
にも対応

そのほか、読み上げソフト対応、検索結果の上限撤廃なども実現しました。



# 何ができるシステム?

## 国会と帝国議会の会議録

国会会議録検索システムと帝国議会議録検索システムは、国会や帝国議会の本会議や委員会において国会議員や大臣などが行った質問や答弁を発言内容や発言者名などから検索できるようにしたデータベースです。

国会での審議がわかる!



会議録の PDF ファイルを収録しているほか、戦後に開かれた帝国議会（昭和 20（1945）年 9 月開会の第 88 回～昭和 22（1947）年 3 月閉会の第 92 回）と、昭和 22（1947）年 5 月に開かれた第 1 回国会以降の会議録は、テキストデータで読むこともできます。

## 日本の法令索引

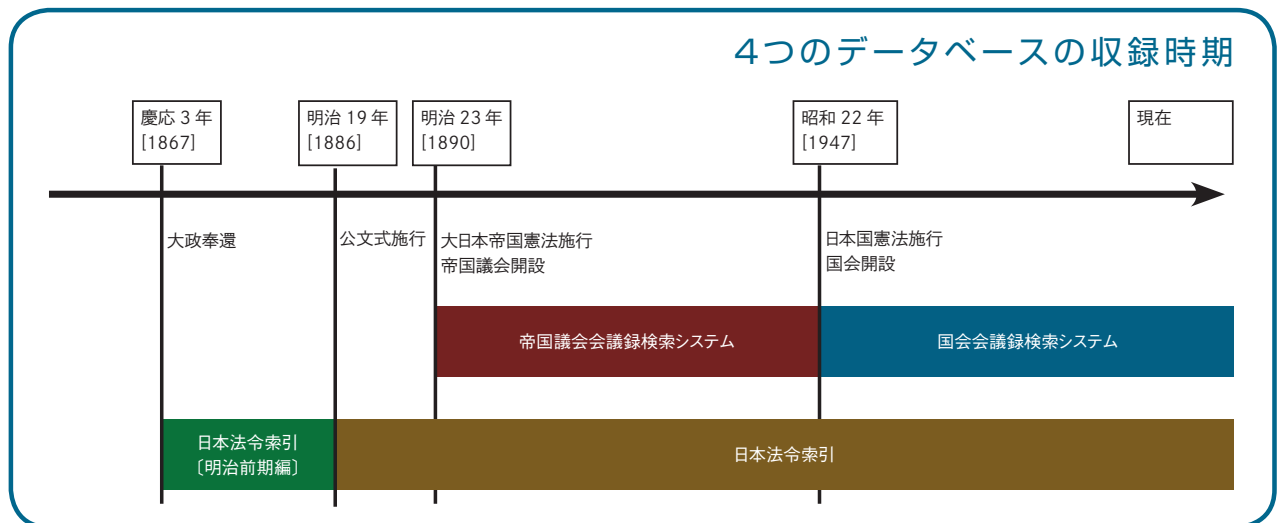
日本法令索引は、国会や帝国議会で成立した法律、行政機関が定めた政令・省令などの「法令」について、その名称や法令番号、公布された年月日などから検索できるようにしたデータベースです。リンクをたどれば、法令の本文を参照することもできるようになっています。

さらに、国会会議録や帝国議会議録と連動して、法律案についてのどのような議論が行われたのかを知ることができます。なお、明治 19（1886）年 2 月に公文式<sup>とうぶんしき</sup>\*が施行される前の古い法令の情報は、**日本法令索引〔明治前期編〕**で調べることができます。

※明治 19 年勅令第 1 号。法令、勅令、閣令、省令などの法令の形式や、公布の方法を定めました。



法令のいろいろな情報がわかる!



# 検索してみる：国会会議録検索システム

## ① キーワードで検索

https://kokkai.ndl.go.jp/



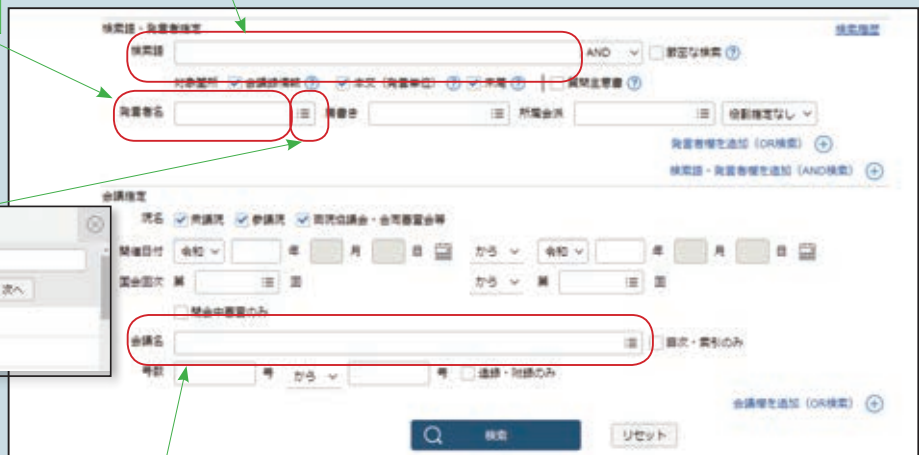
発言のほか、会議の名称、発言者の氏名など、幅広くキーワードで検索できます。

発言などに含まれている語を検索できます。

## ② 詳しい条件で検索

発言者を限定して検索できます。

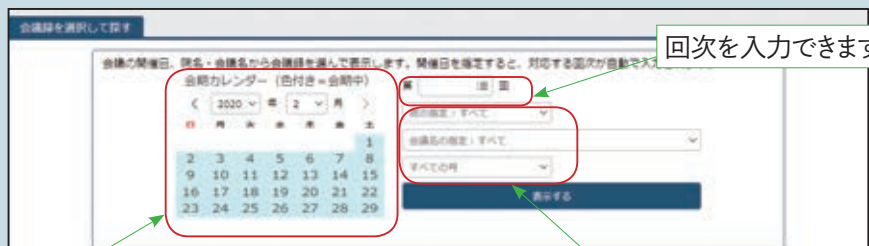
発言者をリストから選べます。



会議名を限定して検索します。発言者と同様、リストからも選べます。

## ③ 日付や回次で特定

回次を入力できます。



**NEW!**

カレンダーで日付を指定できます。日付を指定すると、対応する回次が右側に自動的に入ります。

回次を指定すると院・会議名が選べます。日付を指定せずに回次だけを入力した場合は、会議録の号数も選べます。目次・索引・附録・追録も選べます。

### 今回追加されたもの

### Renewal!

会議録の発言部分のあと（「末尾部分」と呼ばれます）に掲載されている法律案と条約の本文、投票者氏名、質問主意書・答弁書などを、新たに検索できるようにしました\*。

★（上級者向け）検索式を使うこともできます。詳しくは「ヘルプ（使い方ガイド）」4. 検索機能の詳細をご覧ください。

※令和2年2月時点で検索できるのは第191回国会（平成28（2016）年8月）以降の分ですが、今後、検索できる範囲を広げていきます。



## テキスト表示

テキスト形式で会議録を閲覧できます。



発言者の情報（所属会派など）を表示します。

発言者名をクリックすると、右側に発言を表示します。

表示されている発言のリンク用URLを表示します。

**NEW!**

## 検索結果一覧

**NEW!**

該当箇所一覧をクリックすると、スニペット表示されます。



## PDF表示

印刷された会議録(PDF形式)の画像で会議録を閲覧できます。



# 検索してみる：日本法令索引

## ① キーワードで検索

https://hourei.ndl.go.jp/

法令名のほか、法令番号、発令機関などを対象に検索することができます。



## ② 詳しい条件で検索

「法令検索」「法律案・条約承認案件検索」への切り替えができます。

カレンダーで日付を指定できます。

**NEW!**



法令形式のリストから選べます。



法律案に付された附帯決議や趣旨説明などの審議経過を指定して検索できます。

**NEW!**

★(上級者向け) 検索式を使うこともできます。詳しくは「ヘルプ(使い方ガイド)」4. 検索機能の詳細をご覧ください。

## 検索結果一覧







法令沿革(改正年月日  
など)が表示されます。

趣旨説明、質疑、採決など審議経過  
の一覧が表示されます。

法令本文を参照できます。



### 国会会議録検索システムへ



会議録全文のテキスト、画像が掲載されています。

### 法令本文へ



国立国会図書館デジタルコレクション、国立公文書館デジタルアーカイブ、総務省の e-Gov 法令検索などの法令本文を参照できます。

### 今回追加されたもの

議員提出法案の提出者となった全ての議員の名前を新たに登録しました。数百人が一緒に提出した法律案もありますが、全員の名前を確認できます。  
また、法律や条約承認案件の成立・承認年月日も検索できるようになりました。

*Renewal!*

# ある人が国立国会図書館の インターネットサービスで調べてみた②

身近な疑問、どうしても知りたいこと。  
国立国会図書館を使っていろいろ調べてみよう！

## 成人の日はなぜ月曜日？

子どもの  
「なんで」に  
答えるために、  
法律をもう少し詳しく  
調べたいな。

「法律」「調べる」  
で調べ方案内が  
ヒットした。

祝日とか  
ハッピーマンデーって  
確か法律で決まっ  
たっけ。



「ねえ、お父さん！  
成人の日って、  
なんで毎年  
月曜日なの？」



リサーチ・ナビ「日本の法令の調べ方」  
[https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/--201406.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/--201406.php)





20年以上も前の法律なんだニャ

### 国会会議録 検索システム



会議録を読むと、平成10年に改正して、平成12年から始まったんだ。



ハッピーマンデー法って通称なんだ。



この法律を国会で審議したときの会議録が出てきた。

渋滞緩和や経済効果を期待して連休にしたんだ！

この法律、国会ではどう説明してるんだろう。

体育の日といっしょに決まったんだね。調べてくれてありがとう～

日本法令索引でハッピーマンデーを検索してみる。



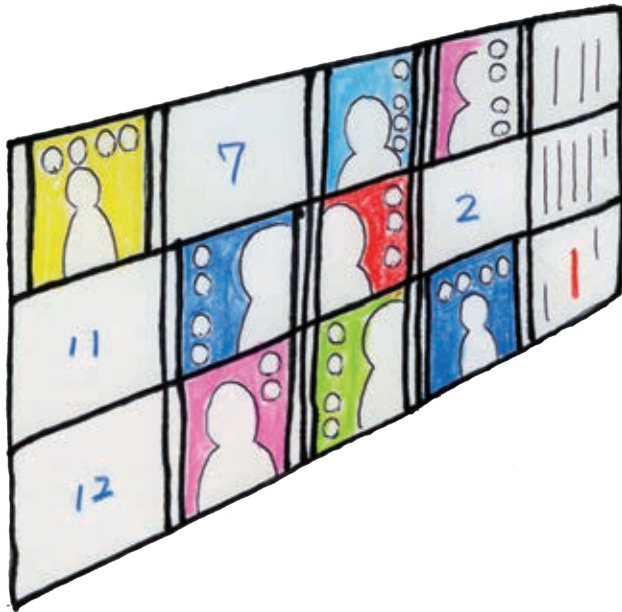
<https://hourei.ndl.go.jp/>

日本法令索引

「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」っていうんだ。



## 成人式は20歳？



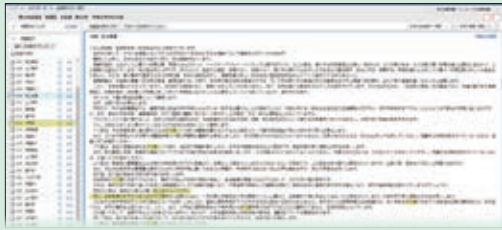
18歳になった！  
投票用紙が送られてきた！  
だけど、  
成人式は20歳なんだって。

学校の先生に、  
国会の会議録が  
読めるサイトを  
教えてもらった。

僕たちが積極的に社会  
参加できるよう、  
18歳を大人として扱うこと  
になったと聞いたけど、なんで  
成人式は違うんだろう？







発言内容がテキストで表示される。  
左のメニューで発言者の選択も可能。



教わったとおり  
「十八歳 成人式」で  
検索してみる。  
(数字は漢字で!)

国会での質疑が  
たくさん出てきた。

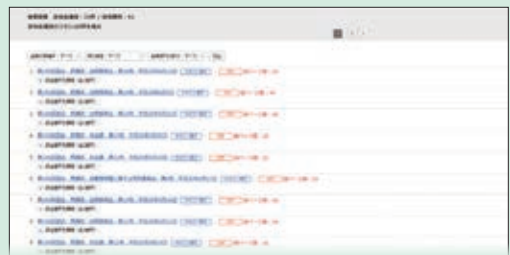
18歳になると大学受験と  
重なって大変なんだ

成人式の参加年齢は  
市町村でこれから  
検討するのか。  
もう少し調べてみよう。



国会会議録 <https://kokkai.ndl.go.jp/>

国会会議録  
検索システム

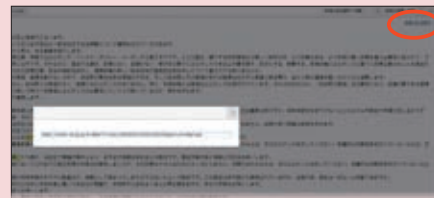


詳細検索の検索語欄に「十八歳 成人式」と  
入れて検索。検索結果一覧でテキスト表示を  
選択する。

成人式はまだでも、  
大人なんだから投票に行くぞ!



ねごろ  
(絵：根来南)



「発言 URL 表示」で友達  
と発言内容をシェアする  
こともできるニャン♪

# 『孔子聖蹟之図』の書誌的調査

― 刊行年を特定せよ！

豊田さおり

国立国会図書館の古典籍資料室では、江戸時代以前の和古書、清代以前の漢籍など約28万冊の資料（以下、「古典籍」と呼びます）を所蔵しています。担当する人文課古典籍係では、「資料収集方針書」に基づいて収集するとともに、受け入れた古典籍を整理します。ここでの「整理」とは、利用者がその資料を利用できるように、書名、著者名、出版者などを特定し、書誌事項を国立国会図書館オンラインに登録する作業を指します。古典籍は新しくても150年前、古いものでは千年前といった資料群なので、現代の本とは異なる点が多く、整理作業に苦労することもあります。今回は、『孔子聖蹟之図』という書物を例に、整理のための調

査の一端をご紹介します。

## 『孔子聖蹟之図』の2系統

今回取り上げる『孔子聖蹟之図』は、中国の明時代の書物を元に日本で刊行されたものです。「孔子聖蹟図」と呼ばれる孔子の生涯で有名なエピソードをいくつか選び、漢詩・文章とともに挿絵で紹介しています（次ページコラム参照）。

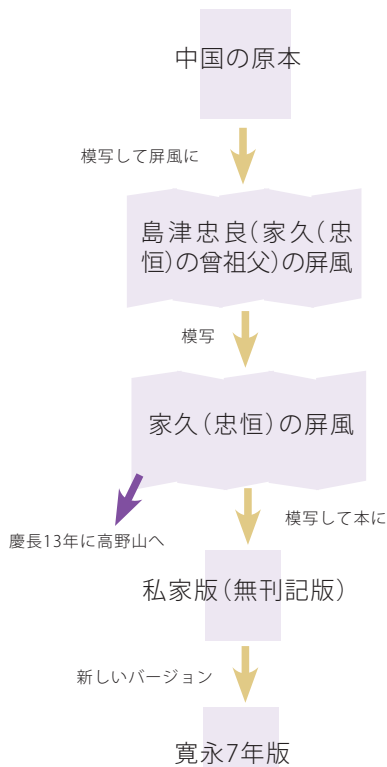
この『孔子聖蹟之図』には、本文は同じですが、寛永7（1630）年の刊記（出版年月、出版地、出版者名などを示した表記）があるもの（以下「寛永7年版」と、ないもの（以下「無刊記版」）の2種類の刊本が存在します。どちらにも初代薩摩藩主、島津家久（忠恒



『孔子聖蹟之図 2巻』(明) 張楷 撰  
(明) 何珣 補 [江戸前期]  
<請求記号W487-N12>



## 現在の研究による『孔子聖蹟之図』の系譜



## 孔子聖蹟図

「孔子聖蹟図」とは聖人孔子（春秋時代 前552/前551-前479）の事蹟を描いた図という意味です。『論語』『史記』『孔子家語』などから採った文章に、孔子を講える漢詩と、対応する場面の挿絵が付きまゝ。中国では大人向けのものではないと知識人には重視されなかったようですが、ビジュアルで伝える分かりやすさから、明清時代に流行し、さらには日本・朝鮮などにも伝わって、東アジアに儒教の教えを広める一助になりました。『孔子聖蹟之図』も、明代の書物の構成そのままに日本で作られたものですが、元になった書物は中国に現存していません。

儒教の祖として、東アジアに大きな影響を与えてきた孔子ですが、実はその生涯は苦難の連続でした。諸国で登用されても讒言（ざんげん）によって追われたり、主君の行いに怒って自ら去ったり。「孔子聖蹟図」には、車に乗って旅する孔子の絵がよく出てきます。また、情けない表情もしばしば登場します。

下の左図は流浪の旅の途中、通りすがりの人に「喪家（忌中の家）の犬のようにやつれている」と評されてしまった孔子、右図は死んだ麟（架空の動物）を見て世の乱れや自らの死を悟る孔子です。



1576・1638)による慶長13(1608)年の序があることから、まず島津家の私家版として無刊記版が作られ、後に刊記を加えた寛永7年版が民間で刊行されたと考えられました。ただ、家久(忠恒)の序は刊行時に作られたものではなく、『孔子聖蹟之図』の元になった屏風を高野山に寄進した時の文章です。つまり、無刊記版が刊行されたのは、屏風が寄進された慶長13年から、刊記を加えた版が刊行された寛永7年までの間と推定されていましたが、その正確な時期はわかっていませんでした(上図参照)。

### 諸本の調査

当館所蔵の『孔子聖蹟之図』(以下「当館本」)には刊記がなく、無刊記版と推定されました。ただ、寛永7年版の刊記部分が失われたものという可能性も、この段階では排除することができません。果たして当館本はどちらなのか?そこで、他機関が所蔵する無刊記版、寛永7年版との比較調査を行うことにしました。無刊記版と寛永7年版の相違点は、刊記の有無のほか、版心(本を二つ折りにした折り目にあたる部分)の違

い(2)が既に指摘されていましたが、本文については、版木を全て彫り直しているのか、それとも版木はまるごと再利用して最後に刊記を加えただけなのか、既存の研究はありませんでした。そこで、本文を詳細に比較することにしました。まず無刊記版の諸本と比較し、当館本が同じ版かどうか判断した上で、寛永7年版と本文を比較することにしました。

無刊記版は、当館本のほかに、東洋文庫所蔵本と九州大学附属図書館所蔵本の2本があることが分かっています。どちらも原本を閲覧し、版木の枠の欠けている箇所や特徴的な字体などが当館本と一致することを確認しました。印刷の状態に著しい違いもないため、無刊記版の3本はおおむね同時期に刷られたと推定しました。

次に、寛永7年版の調査を行うことにしました。その一つである国立公文書館所蔵本(3)と比較したところ、予想外のこと分かりました。無刊記版と寛永7年版は、全て彫り直したわけでも刊記を加えただけでなく、彫り直した版木とそのまま使われている版木が混在しているのです。

# 1 適衛擊磬図

1-1 当館本(無刊記版)



1-2 国立公文書館所蔵本  
(寛永7年版)



## 図版の比較

まず、彫り直した版木の例を挙げます。図1・1は当館本(無刊記版)、図1・2は国立公文書館所蔵本(寛永7年版)です。孔子が磬という打楽器を鳴らしている時に、もっこ担ぎの男が外を通りかかり、音が無心でないと批判する様子を描いた図です。左側の図を比較すると、右端の波しぶきの個数が図1・1と図1・2で異なっているのが分かります。その下の地面に引かれた平行線の長さも違います。人物の顔を比較するとより分かりやすいかもしれません。これらの相違点は、印刷の際のかすれ等で生じるものではなく、版木を彫り直したためと考えられます。

次に、同一と思われる版木の例を挙げます。図2・1と図2・2は孔子が若い頃、穀物倉庫の管理をして評判を得た時の図です。右側の図は地面の平行線の長さなどから異なる版木と判断できますが、左側の図は、版木の枠の欠損や倉庫の壁の輪郭線の歪みが一致しており、同一の版木と思われる。



## 2 職司委吏図



2-1 当館本(無刊記版)



2-2 国立公文書館所蔵本(寛永7年版)



### 3 在齊聞韶図



3-1 当館本(無刊記版)



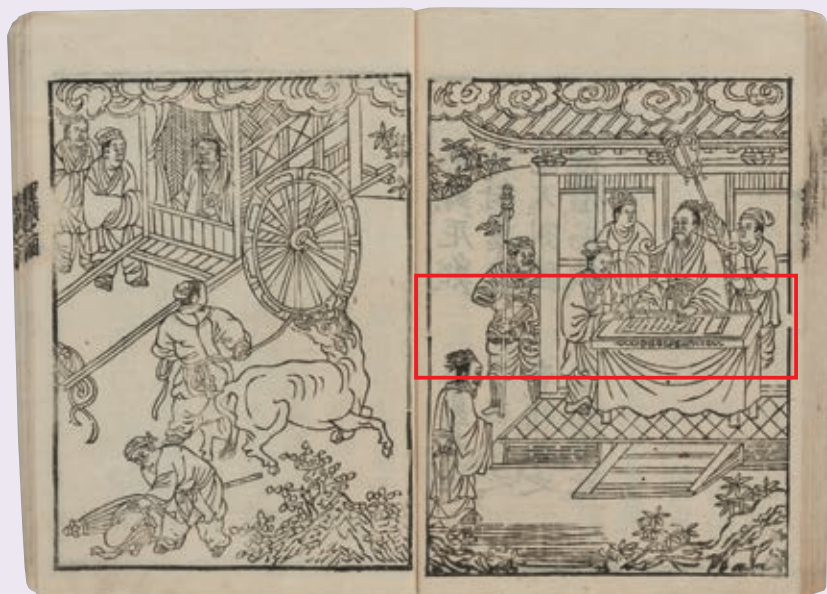
図3・1と図3・2は孔子が古くから伝わる韶しやうという音楽を鑑賞している図、図4・1と図4・2は孔子が晏嬰あんとくという人物の反対によって仕官がかなわず、齊国を去っていく図です。相違が生じやすい人物の顔や地面の平行線の長さも非常に似通っており、同版と認められます。ただ、当館本(図3・1と図4・1)には、右側の図の中央付近に線状の傷が走っているのです。これは何を意味しているのでしょうか。

3-2 国立公文書館所蔵本(寛永7年版)





## 4 晏嬰阻封図



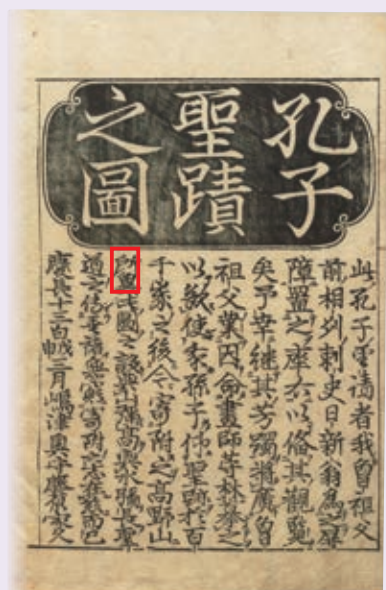
4-1 当館本(無刊記版)



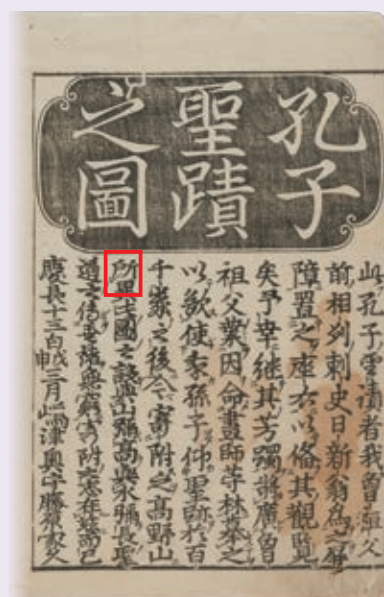
4-2 国立公文書館所蔵本(寛永7年版)



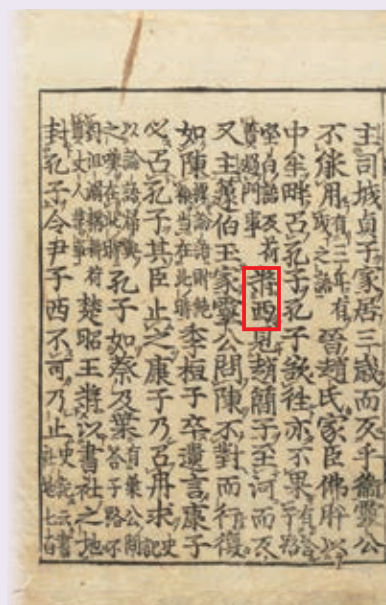
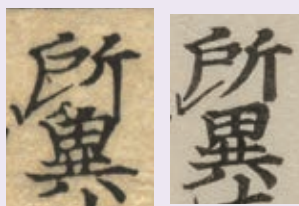




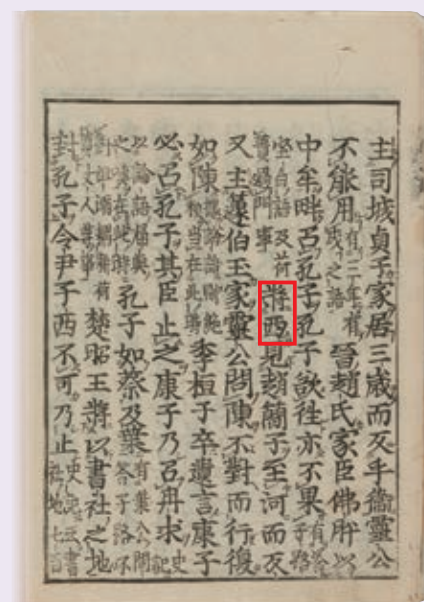
5-2 国立公文書館所蔵本(寛永7年版)



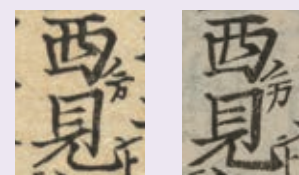
5-1 当館本(無刊記版)



6-2 国立公文書館所蔵本(寛永7年版)



6-1 当館本(無刊記版)



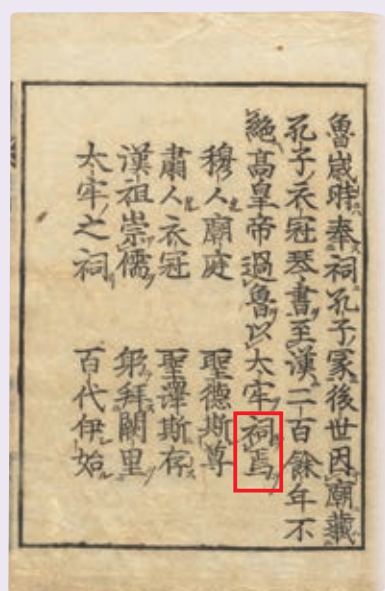
文章の比較

前段の疑問はいったん置いて、今度は文章に注目してみます。文章部分も、字体などの比較により、同じ版木と異なる版木が混在していることが分かってきました。異なる版木をいくつか比較してみます。

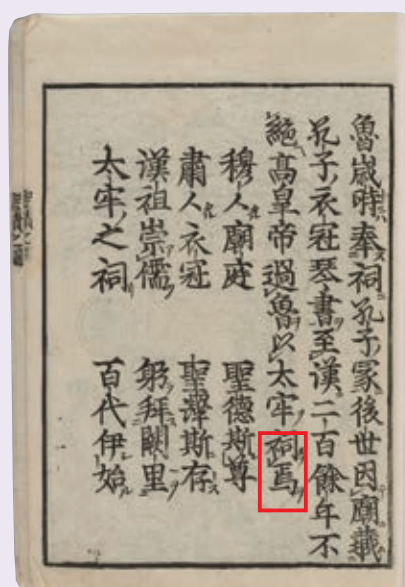
まずは、冒頭の序文です(図5・1、図5・2)。後ろから3行目、上から2文字目の文字は、図5・1では明らかに「異」ですが、図5・2の「異」の字の上には、線がかすかに見えます。この部分は「この図(孔子聖蹟之図)を設置することによって聖道(儒教の教え)が伝えられることを願う」という意味なので、本来「異」の文字は「冀」(こいねがう)が正しいと考えられます。図5・2の文字は「冀」の上部が不鮮明になってしまったようです。

図6・1の4行目中ほど、「西」に付けられた送り仮名は当初「ノニカ」かと思いましたが、しかし、図6・2を見ると「ノ方」と読めます。「西方の趙簡子に会おうとするが黄河に至って引き返す」という文意から、図6・2の「ノ方」が正しいと思われま

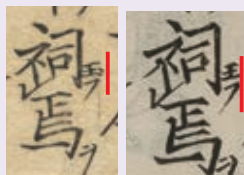
ます。もう一例、図7・1では「王フ」と読める送り仮名が、図7・2では



7-2 国立公文書館所蔵本(寛永7年版)



7-1 当館本(無刊記版)



「玉フ」となっています。こちらにも「祀り給う(たまう)」という意味なので、図7・2が正しいようです。

### 刊行時期が逆？

文章の比較から、当館本(無刊記版)慶長13(1608)年から寛永7(1630)年の間に刊行された(従来考えられている)よりも国立公文書館所蔵本(寛永7年版)の方が、より正しい文章だと言えます。無刊記版の後に寛永7年版が制作されたという従来の説に当てはめると、無刊記版の誤りを寛永7年版で修正したということになります。しかし、無刊記版は島津家の私家版とされ、訓点は島津家と関わりの深い学僧文之玄昌(1555・1620)の手によるとする研究もあります<sup>6)</sup>。そのような特別な刊行物に稚拙な誤りが多いのは違和感があります。

従来考えられてきた刊行順序とは逆に、文章の正しい寛永7年版が先、

無刊記版が後、という可能性はないでしょうか。無刊記版の文章の誤りは、版木を作り直す際に、漢文の知識の乏しい職人が、版下の文字を読み誤って彫ってしまったとも想像できます。

ここで、同一と思われる版木に走る傷を思い出します。これは寛永7年版が刷られてから無刊記版の印刷まで時間が経ったため、版木が割れて傷んでしまったのではないのでしょうか。

これらの事実によって考えると、寛永7年版の刊行からある程度の時間が経過した後、傷みの激しい一部の版木はまるごと彫り直し、比較的傷んでいない版木はそのまま使って、無刊記版を作ったのではないのでしょうか。つまり、従来の説とは逆なのです。

### 残る課題

しかし、刊行年を特定するには材

料が足りません。当館本はひとまず「江戸前期」とのみ推定して整理することにしました。

今回の調査では国立公文書館所蔵本の原本と、早稲田大学附属図書館所蔵本(下巻のみ)のデジタル画像を調査するのみにとどまりましたが、寛永7年版の伝本は比較的多く、表紙の種類などでグループに分けられることが先行研究で指摘されています。寛永7年版の中でも版面に違いはないか、詳細な調査をさらに行えば、『孔子聖蹟之図』の刊行・印刷の過程を解明できるかもしれません。

古典籍の整理は時折、このような調査を伴います。国立国会図書館オンラインに掲載されている書誌事項の裏には、このような苦勞や仮説が潜んでいるのです。今後、利用によってさらなる調査が進むことを期待します。

### 注

- この屏風は現在所在不明だが、中山久四郎解説『至聖文宣王』(春秋会、1934)に屏風に貼られた図版の写真が収録されている。
- 無刊記版の版心には「聖蹟之圖」という文言のみがあるが、寛永7年版の版心には「聖蹟」という文言と丁付を示す数字がある。
- 請求記号：三-H-b-12。
- 請求記号：121-C-10。竹村則行『孔子聖蹟図』和版集成』(花書院、2014.1)にマイクロフィルムから複製された図版が収録されている。
- 請求記号：史066-0001。
- 伊藤慎吾「文之玄昌と『聖蹟図』」(京都大学文学部国語学国文学研究室編『国語国文』72巻7号、2003.7 pp.17-31)

### <参考文献>

- 加地伸行『孔子画伝 聖蹟図にみる孔子流浪の生涯と教え』(集英社、1991.3)【HB41-E32】
- 竹村則行『孔子聖蹟図』和版集成』(花書院、2014.1)【HB41-L114】
- 安国良一「近世初期、住友の出版と『孔子聖蹟之図』」(『住友史料館報』【Z3-2312】第47号、2016.7)
- 永富青地「江戸期における『聖蹟図』の出版について」(『中国社と文化』【Z9-754】第33号、2018.7)



# 国立国会図書館で働いています

no. 4

資料に「地球の裏側まで  
いってらっしゃい」と  
言える仕事です



国際交換というのは何をどう交換するお仕事なんですか？

約60か国の国と、主に官公庁が刊行した資料を交換しています。国立国会図書館（NDL）創立時からの伝統的な業務です。海外の交換相手先の機関から交換可能な資料のリスト（エクステンジリスト）が送られてくるので、それを館内に回覧して、リクエストを取りまとめてメールで相手先の機関に返すのが一つの仕事です。交換相手先から資料が届いたら、NDLの所蔵資料とするための作業を行います。逆に、NDLが官

公庁から入手して交換相手先に提供可能な資料のリストを、ホームページを通じて公開し、リクエストのあった資料を交換相手先に送りま

す。NDLは納本図書館であるため、資料を受け入れることは多いのですが、外部へ送り出す仕事はあまり多くありません。資料に「いってらっしゃい」と言える貴重な仕事だと思っています。

60か国ということは、地球の裏側まで届くわけですね。あげるものともうらものは釣り合ってますか？

同じくらいの数や価格の資料を交換するのが理想的ではありますが、国によって物価や出版事情が異なり、現実にはとても困難なため、厳密にははいません。交換でしか手に入らない資料もあるので、交換を続けることが大切なんです。

官公庁が刊行したものの以外は交換しないのですか？

一般の出版物も含まれます。こういう分野のものが欲しいと伝えておくと、送ってくれることがあります。こちらからも、リクエストがあったものについては、買って送ることもあります。

インターネットの時代になって数は減ったのでしょうか？

昔に比べれば少なくなっていますけど、まだまだ需要はあります。また、電子に切り替わった資料は、先方にURLなどの情報を提供したりしています。

冊子体資料を対象としたエクステンジリストを海外の機関に公開すると、リクエストがどんどん来ると、まさに交換先の担当者に聞くと、冊子体の需要はまだあったって、調査するにはデジタル資料の方がよいのだけど、いろいろ深く調べる、研

## 大友 敏之 収集書誌部 外国資料課 国際交換係長

平成16 (2004) 年10月 入館 複写課 複写調整係  
平成18 (2006) 年4月 複写課 館内複写係  
平成19 (2007) 年10月 情報システム課 総括係  
平成22 (2010) 年4月 情報システム課 運用係  
平成24 (2012) 年4月 人事課 服務係長  
平成28 (2016) 年4月 収集・書誌調整課 納本制度係長  
平成29 (2017) 年4月 外国資料課 国際交換係長

聞き手：総務課編集係

究するには紙の方が読みやすいというのがあるようです。

大所帯の係ですが交換以外の業務もあるのですか？

交換先とのやり取り以外にも、外国刊行資料の寄贈の受付や、図書館の所蔵資料にするための受入作業も担当しています。一冊一冊について、タイトルなど資料の大まかな情報をシステムに入力したり、固有の番号を付与するバーコードラベルを貼ったりして、詳細な整理を行う書誌部門に引き渡しています。実は国際交換係の守備範囲はかなり広く、多種多様なんですよ。

見たことがない字の資料も来るのでは？

来ますね。今日もアゼルバイジャンから資料が届きました。慣れてくると、字を見たら何語かはなんとなくわかるようになりますが。今は便利で、手書きした字が何語か表示される翻訳ソフトもあります。定型のもの、たとえば、新聞や雑誌でよく記載のある「〇月」の単語などは、いろいろな言語の表を作ったりして

います。

◆ ◆ ◆

以前は旅行会社にお勤めだったそうですね。

大学を卒業してから5年間、旅行会社で修学旅行担当の営業と添乗をしていました。担当地区の学校に日々営業に行って、学校の行事とか、先方の出張のお手伝いをしながら、顔売って、最終的には修学旅行の獲得を目指すという。先生方と一緒にお酒を飲んだり、公務員とはかなり違う世界です。

辞めたのは、何か限界を感じたのでしょうか。

とにかく毎日忙しくて。ひどい時には1日中働いて、深夜にタクシーで帰って30分だけ仮眠をとって、次の日から3日間修学旅行の添乗員をやったり(苦笑)。このままで体が持つかないという不安がありました。

そこでなぜ国立国会図書館？

もともとけっこう人見知りだったので、転職を考えた時に、旅行会社み

たいに常に動きまわっているイメージではなく、腰を据えて物事にじっくり取り組む「静」のイメージの仕事をしてみたかったです。そのイメージに近かったのが、近所の公共図書館。司書の勉強をしたこともなかったから無理かなと思ったけど、国立国会図書館は司書資格がなくても受験できると知って。

NDLに転職してみようでした？

全然「静」ではなかった(笑)。睡眠時間はちゃんととれましたが、また違った忙しさでした。入ってすぐ複写課でしたし。

かなり「動」ですよ、特に複写のカウンター対応は。

著作権の範囲内でコピーするのが前提ですが、全く著作権を勉強したことがない中で利用者の方に対応して、お叱りを受けたこともありまして。勉強して、ビジネス著作権検定を受けたりしました。

その後配属になったのは情報システム課ですが、システムにお強いのですか？

次の納本制度係はどうでしたか。

いや、まったく(笑)。館内のメールの運用を担当していました。外部の業者さんがいっぱい入って運用しているのですが、打合せをすることが多かったんですけど、専門用語がバンバン出てきて。知ったかぶりでも何か大事が起きたらまずいと感じたので、恥をしのんでなんでも聞いて勉強しました。

その次は人事課服務係ですね。

全職員の出勤状況とか、育休とか、把握する仕事です。職員がいろいろなバックグラウンドの中で働いているんだなということを感じました。甘くはできないけど、いろいろな事情を分かった上で対応しないとイケないな、と。また、ちょうどフレックスタイム導入間近の時期だったので、マニュアル作成に携わりました。今多くの職員がこの制度を使っていて、良かったなと思っています。



手にはアゼルバイジャンからの資料。



業務の一つに電子書籍・電子雑誌収集実証実験事業というのがあります。外部の出版社の方々にお話を伺う機会が多く、すごく率直な意見を伺いました。今の出版界の状況が厳しくて、必死に取り組んでいらっしやるのが強く伝わってきて、いかに自分が図書館側の視点しかなかったか、痛感しました。



### ◆ ◆ ◆ 育休を取られたそうですね

平成22年4月に子どもが生まれて、23年1月から4月まで4か月間、情報システム課時代に育休を取らせてもらいました。今は次女のお迎えのため、育児時間として1時間早帰りさせてもらっています。育休を取る前も育児時間を利用してもらう前も、上司はもちろん、いろいろな方に相談に乗っていただきました。

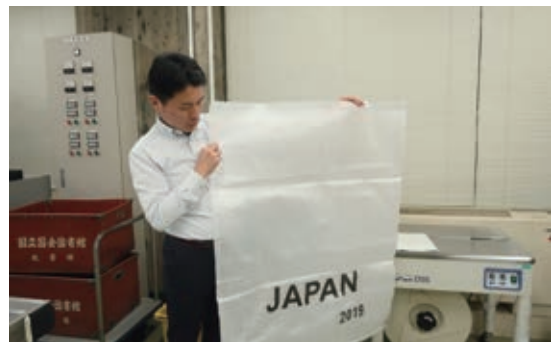
### ◆ ◆ ◆ その頃は男性の方で育休を取る方はそれほど多くなかったような？

そうですね。男性職員も一度は育休や育児時間を取れるとよいと思いましたが、仕事の上でもメリットがあると思います。自分は時間のやりく

りが上手になりました。例えば、「今日中」の仕事が降ってきた時に、以前だったら20時、21時までを「今日」と設定して考えていましたが、今は夕方に退庁するために、いかに効率よく仕事をこなすかに頭を使っています。そのあとは、帰りの電車の中で夕飯の献立を考えて、子どもを迎えに行くと、家に帰ったらいかに効率よく夕飯を作るか。油断すると子どもが夕飯前に寝てしまうので。ただ、育休も育児時間も、実際には周囲の方のご協力あってこそなので、いつも感謝しています。

### ◆ ◆ ◆ お休みの日の過ごし方、ストレス解消法など教えてください。

典型的な休日のお父さんという感じですが(笑)。時々ゴルフの打ちっぱなしに行ったり。コースは3、4月に1回くらい、館内の同好の土で行きます。旅行会社時代につきあいで行ったときはわからなかったのですが、すごく奥深いスポーツです。あとは子どもの付き添いで水泳とか、体操教室とか。ただ見ているだけなんです、自分もやっているよ



うな充実感があります。

### ◆ ◆ ◆ 今後どんな仕事をしたいですか。

資料の整理、書誌作成をまだ経験していないので、一度はその仕事をしてみたいです。

### ◆ ◆ ◆ 今後のNDLはどうなる、どうあるべきだと思いますか。

曖昧な言い方になりますが、電子書籍の実験をはじめ、ジャパンサーチとか、どんどん新しい事業に中心的に取り組んでいるのが現状だと思います。自分としてはNDLは大きい木で、どんどん枝葉を外に伸ばして

いって大きくなっていくイメージ。国の機関なので大きな木になることは必要だと思うのだけど、その木に

できる実、事業を一つずつ大きくしていくって熱させていく、栄養を注いでいく作業も重要なのではないかと。

### ◆ ◆ ◆ めまぐるしく新しい成果を求められている気がします。

正直、職員もNDLの全体像をとらえにくくなっていますよね。今、手を付けているものをじっくり充実させて、職員が深めていく時期が必要なんじゃないかと思います。一つひとつの実を大きくする一員でありたいと思います。

- 上から、
- ・ 言語ごとの月の名前の表を手に。
  - ・ 郵袋。重いものを送るときに使います。
  - ・ 作業スペースにて(26ページの写真も)。



## 「縦から横へ」のその先に

皆さまは、国立国会図書館の英語の刊行物をご覧になったことがあるでしょうか？ 近年、当館は、ウェブサイト、Twitter(@NDL\_P\_en)などによる英語での情報発信にも力を入れています。

日本語原稿を基に英文を作成する作業は、基本的にその業務を所掌する各部署が行います。そして、執筆者からの依頼に応じて、それらの英文を校正・校閲するのが、「ネイティブチェック」と呼ばれる作業です。

現在は、翻訳についての専門性を兼ね備えた英語を母語とする二名の非常勤調査員が、ネイティブチェックとして業務に当たっています。囲碁と音楽をこよなく愛すアメリカ出身V調査員と、ちよつぱり暑がり料理上手なカナダ出身S調査員です。私たち総務部支部図書館・協力課協力係は、ネイティブチェックと各部署との橋渡しの役割を果たしています。

チェックの対象は、ウェブサイト等で発信する最新情報のほか、刊行物の英文目次（この月報の裏表紙をめくってください）、国際会議での発表原稿、新たに提供するサービスの手引き、海外の図書館へのレターなど多岐にわたります。ネイティブチェックの現場では、英文を通じて、国立国会図書館の最新の動きをみることができます。

ちなみに、協力係が所掌する当館の英文広報誌NDL Newsletter<sup>※</sup>では、この月報に掲載された選りすぐりの記事を英語でお楽しみいただけます。こちらの英文も、公開前にネイティブチェックを経ていきます。

異なる言語を用いて物事を伝える中で苦労する点は数多くあります。例えば、日本語特有の曖昧な表現は、英語にそのまま訳しても意味が通らないことが多いので工夫が必要です。また、「和歌」のような名詞にローマ字読みを充てるか(Waka)、意味の近い訳語 (Japanese poem) を用いるかも悩むところです。日本語を解さない読み手にも、書き手の意図が正確に伝わるよう、情報の順序を組み替えたり、意識することもあります。私たちは、時に、日本語原文に忠実であることと、英語として自然な表現との板挟みとなりながらも、世界中の皆さまに当館のサービスや事業、そして所蔵資料の魅力を伝えることを目指しています。

縦のものを横にしたその先に、生きた英語の躍動を与えてくれる―それがネイティブチェックです。

（支部図書館・協力課 はとジェンヌ）

※ [https://www.ndl.go.jp/en/publication/ndl\\_newsletter/index.html](https://www.ndl.go.jp/en/publication/ndl_newsletter/index.html)



## 利用者アンケートご協力のおかげ

国立国会図書館が提供する各種のサービスを改善するために、アンケートを実施します。

左記のアンケートページから皆様のご意見をお聞かせください。アンケートページでは、過去のアンケート結果、分析などもご覧いただけます。

### ○アンケートページ

<https://www.ndl.go.jp/aboutus/enquete/index.html>  
国立国会図書館ホームページ▽国立国会図書館について▽利用者アンケート

### 利用者サービスアンケート

国立国会図書館のサービスを利用されている方々を対象としたウェブアンケートです。通年で実施します。

・実施期間 4月1日(水)～3月31日(水)

### 各コンテンツ・サービスについてのアンケート

個別のコンテンツやサービスについての各種アンケートの実施も予定しています。

・実施期間 コンテンツ、サービスごとに異なります。実施時にアンケートページ及び各コンテンツ、サービスのページ等でお知らせします。

### ○問合せ先

総務部 企画課 評価係

電子メール [hyoka@ndl.go.jp](mailto:hyoka@ndl.go.jp)

## 新刊案内

### レファレンス 829号

小特集「海洋プラスチックごみ問題をめぐって」へ  
緒言▽

海洋プラスチック汚染の現状と対策

米国における一般廃棄物処理の概況とプラスチック  
規制の現状

廃プラスチックの輸出入をめぐる状況

明治憲法下の「憲法争議」と「法令審査権」をめぐる  
議論―違憲審査制による憲法保障へ―

諸外国の事例に見る付加価値税の減税等

最低賃金引上げ方法の多様性 米国の最近の動向から―



A4 154頁 月刊 1,000円(税別)  
発売 日本図書館協会

### カレントアウェアネス 343号

映画評『ニューヨーク公共図書館 エクス・リプリ  
ス』

早稲田大学・慶應義塾大学コンソーシアムによる図書館システム共同運用に向けた取り組みについて

日本の図書館と先住民民族…IFLA2019年アテ

ネ大会先住民分科会でアイヌ民族を取り上げるセッションを組織して

第25回ICOM(国際博物館会議) 京都大会

2019

EU新著作権指令にみるデジタル時代の「図書館」  
像―デジタルコンテンツの供給源としての図書館

### △動向レビュー▽

Rights Statementsと日本における権利表記の動向



A4 24頁 季刊 400円(税別)  
発売 日本図書館協会

入手のお問い合わせ

日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

電話 03(3523)0812

# 4

NATIONAL  
DIET  
LIBRARY  
MONTHLY  
BULLETIN  
2020.4

NO.708  
APRIL  
2020

## CONTENTS

- Completion of the new Kansai-kan Storage Annex
- 03 <Book of the month - from NDL collections>  
Another Japan in Switzerland
- 08 New search interface for four databases about the National Diet and  
Japanese laws
- 14 The things you can find on the NDL website (2)
- 18 Bibliographic research in *Koshi seiseki no zu* (The life of Confucius)  
—Identifying the date of publication
- 26 Working at the NDL, Episode 4
- 07 <Books not commercially available>  
*Diego Rivera and His Contemporaries*
- 29 < Tidbits of information on NDL >  
Translating between the lines
- 30 <NDL Topics>

国立国会図書館月報

令和2年4月号 (No.708)

令和2年4月1日発行

発行所 国立国会図書館  
編集責任者 三浦良文

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
電話 03 (3581) 2331 (代表)  
FAX 03 (3597) 5617  
E-mail geppo@ndl.go.jp  
<https://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。  
本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋して転載される場合には、事前に当館総務部総務課にご連絡ください。  
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ (<https://www.ndl.go.jp/>) > 刊行物 > 国立国会図書館月報でご覧いただけます。





NATIONAL  
D I E T  
LIBRARY  
MONTHLY  
BULLETIN  
2 0 2 0 . 4

 国立国会図書館  
National Diet Library, Japan

図

国

国

書

人

士